

江南歴史散策道 ～信長・生駒（吉乃）コース～ 案内人 柴田

- ① 踏査会日時 10月29日（土） 13:50～16:30（160分）
- ② 集合時間 名鉄犬山線 布袋駅 13:45集合 急行停車
- ③ 踏査会場 江南歴史散策道 ～信長・生駒（吉乃）コース
- ④ 懇親会場所 江南駅前 「や台や 江南駅前町」 予定 17:00～
- ⑤ 吉乃と生駒家概要

信長の側室「吉乃」は、今の江南市の小折に勢力を築いた**生駒家**の出身である。この側室には、長男信忠（本能寺の変で自刃）、次男信雄、徳姫（家康の長男信康の正室）の3名の子があった（吉乃は29歳で没）。

生駒氏は、その家譜によれば藤原氏の流れで、もとは**大和国生駒郷**（奈良県）に住み、文明・明応（1469～1500）の頃に初代家広が小折村に移り住んだと言われている。前野氏の祖先、宗安が「承久の変」に敗れ、生駒氏に庇護された旧縁を頼って尾張の小折に来たとされている。生駒氏は、灰（染め物の原料）と油を商う馬借（運送業）で財を蓄え、この地方で大きな勢力をもつようになった。

四代家長の妹（**幼名お類、吉乃の方、久庵桂昌**）が信長の側室になると、織田家との関係を深め、家長も信長の家臣として活躍し、信長の**参謀格**として生駒家の存在感は大いに高まった。五代利豊は秀次、次いで秀吉に仕え、関ヶ原の戦い時には福島正則に属して戦い、宇喜多秀家の小姓頭足立勘十郎を討ち取るなど武勲を立てた。その後家康の命によって松平忠吉、徳川義直に仕え、2千石を与えられ**尾張藩士**としての地歩を固めた。十代周房は、八代致長の弟の子として生まれ、養子として生駒家へ入り、力量を認められて**年寄（老中・家老相当役）**まで昇進した。その功績により千石を加増され、**生駒家は4千石**（六代利勝の代に3千石となっている。）の大身となった。

生駒屋敷（小折城）は、布袋東保育園付近にあったとされ、その一角に生駒屋敷跡の碑がある。また、江南市田代町にある生駒家の菩提寺・**久昌寺（きゅうしょうじ）**の本堂西隣の一角に生駒家代々の墓がある。その中央にとりわけ古い墓石が並ぶ。初代～五代目と吉乃の墓である。江戸時代に整備されたとみられ、墓石に刻まれた碑は風雨にさらされ、読み取りにくくなっている。寺の西にある**龍神社**は、信雄の出生の地で氏神として尊敬された。その社務所付近に**吉乃御殿跡**が残っている。信長と吉乃が、信忠・信雄・徳姫を授かり、短い家庭的な時期をこの地で過ごしたと言われている。**吉乃の方茶毘地（経塚）**は、現在、墓地の一角に残され、彼岸桜が植えられている。NHKの大河ドラマ「信長」の吉乃の方を演じた女優高木美保が、平成四年久昌寺を参拝した折にこの彼岸桜を「吉乃桜」と命名した。

⑥ 踏査会コース（5km）

A布袋駅→B廣間家の門→C富士塚→D宝頂山墓地→E般若寺→F生駒屋敷跡→G神明社→H久昌寺→I龍神社→J常観寺→K吉乃の方茶毘地→A布袋駅→江南駅